

平成29年度県立宇都宮女子高等学校における学校評価実施報告

1 自己評価について

(1) 本年度の重点目標及び設定の理由等

ア 重点目標

- ① 幅広い教養と心豊かな人間性の育成
- ② 学力向上と進路意識の高揚を目指した組織的な取組の強化
- ③ 未来を創りあげる力と社会性の育成
- ④ 諸課題への積極的な対応

イ 重点目標設定の理由等

- ① 生徒に意義ある学校生活の創成と幅広い教養の習得に取り組ませるため。
- ② 学力向上と進路意識の高揚を図り、生徒の自己実現を支援するため。
- ③ 将来リーダーとして活躍し、社会のさまざまな分野において貢献できる人材の育成を目指し、全人教育を実践するため。
- ④ 保護者や地域のニーズを把握し、安全で活力ある学校づくりを推進するため。

(2) 評価項目

ア 豊かな教養の習得を目指した、意義ある学校生活の創成への取り組み

イ 学力向上・進路意識の高揚と生徒の自己実現の支援

ウ 諸課題の把握と積極的対応

(3) 評価の観点、評価基準等

上記3つの評価項目に関して、以下のとおりそれぞれ評価の観点に基づいて、4段階で評価する。

アに関して

- ① 知的好奇心や探求心を高める学校行事を生徒自身が主体的に進めることができたか。
- ② 生徒の自主的研究活動である「自由研究」を推進することができたか。

イに関して

- ① 各教科、各学年、各部、各委員会が緊密に連携を深め、生徒のバランスの取れた学力の伸長に努めることができたか。
- ② 主権者教育の充実を図ることができたか。

ウに関して

- ① 安全で安心できる学校づくりを念頭において、授業や諸活動、諸行事に取り組むことができたか。
- ② 生徒の実態を把握し、適切ないじめ防止対策をおこなうことができたか。

(4) 評価実施時期及び実施方法

ア 実施時期

12月上旬

イ 実施方法

自己評価をするにあたり、「生徒による授業評価(7月上旬実施)」、「平成29年度学校アンケート集計結果(生徒)」(資料1)、「平成29年度学校アンケート集計結果(保護者)」(資料2)、「平成29年度学校アンケート集計結果(教職員)」(資料3)を活用した。

(5) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

ア 平成30年1月17日に評価結果及びその分析・検討を加えたものを職員会議に提出し、審議した。

イ 平成30年1月26日に評価者による会議を開催し、自己評価の結果を提出し、審議した。

ウ 評価結果は、PTA総会(平成30年度5月)、ホームページ等で公表する予定。

(6) 評価結果に基づく今後の改善方策等

- ・土曜講座(UJOKOZA)の内容について生徒の意向も踏まえて再検討する。
- ・学力向上に向けて各教科間の連携を強化していく。
- ・様々な学習活動や学校行事に対する生徒の自発的、主体的な取り組みを支援していく。

2 学校関係者評価について

(1) 評価組織（評価者）

学校評議員、保護者代表、学校関係者

(2) 評価実施時期及び実施方法

平成30年1月26日に評価者による会議を開催し、自己評価の結果を提出し、審議した。

(3) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

PTA 総会（平成30年度5月）、ホームページ等で公表する。

(4) 評価結果

「平成29年度 学校自己評価」、「平成29年度 学校アンケート集計結果（生徒・保護者）」等について
の評価会議出席者の主な意見等

- ・土曜講座(UJOKOZA)はアンケートの結果をふまえて生徒にとってよりよいものにしてほしい。
- ・大学入試の先の将来を見据えての議論や具体的な取り組みを工夫してほしい。
- ・先生方一人ひとりの良さを活かす視点と連携を高める視点の両方が大切ではないか。
- ・先生方が生き生きと授業や生徒指導にあたることのできる学校運営に取り組んでほしい。

(5) 評価結果に基づく今後の改善方策等

- ・長期的で幅広い視野にたつとともに、生徒の意向を踏まえた学習指導の充実に努める。
- ・学力向上や効率的な学校運営を目指し、教員間の連携の強化に努める。

3 学校からの情報提供について(学校評価に関わる取組を除く)

(1) 提供内容

- ア 学校行事等の報告
- イ 災害等の緊急時の対応

(2) 提供方法

- ア 上記(1)アについては、「PTAだより」、「SSH通信」等印刷物による。
- イ 上記(1)イについては、携帯電話メールによる。